

## 令和元年度第2回 第三次多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会 要点録

日 時 令和元年9月26日（木）午前9時40分～午後0時20分  
場 所 多摩市立図書館 本館 講座室  
出 席 おはなしチャチャチャ、コアラ文庫、多摩おはなしの会、  
多摩市文庫連絡協議会、つくしんぼ文庫、  
ひなたぼっこ、もりの文庫  
欠 席 ひなの会

### 開会

#### 1 第1回 第三次多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会 要点録案の確認 (訂正事項) なし→確定

(会長)

今回は要点録案を早めに送るようお願いしたい。

(事務局)

次回会議（11月下旬）の開催通知に、要点録案を同封してお送りする。

(事務局) (事前送付資料、当日配付資料の確認)

#### 2 報告事項

##### (1) 子どもの読書活動推進に関する主な事業等について

(事務局) (資料1に基づき説明。資料の「1日図書館員」の参加人数を48人に訂正。)

(委員からの主な意見、質問等)

- ・11/7の都立桜の丘学園への出張おはなし会はお昼休みに行うのか。今年度、つくしんぼ文庫でもお昼休みのおはなし会の開催に協力しており、10月にも実施予定。手探りでっており、お互いの情報が分かると良い。

→(事務局) 図書館では授業の中で行う。1月30日にもおはなし会の依頼を受けている。ここ数年は教職員と保護者向けの読み聞かせ講座も行っている。

(会長)

図書館と文庫の双方で行っているので、やり方やすみ分け等、協力・共有できれば良い。

- ・つくしんぼ文庫には、今年度聖ヶ丘図書館を通じて、桜の丘学園の司書の先生から直接依頼が来た。多摩桜の丘学園についてはアクションプランにも入っており、

ボランティアのこういった活動がどういう位置づけなのか、どういう連携を持ってやっていくのかと思う。図書館とつくしんぼ文庫がバラバラに行わず、双方で連携しながら全体として良い方向に行きたい。

- ・(つくしんぼ文庫が桜の丘学園で活動していることについて) 事務局は把握していたか。  
→ (事務局) 桜の丘学園とは定期的に情報交換をしているので把握していた。つくしんぼ文庫と聖ヶ丘図書館は、「地域連携」という位置づけと思っている。(つくしんぼ文庫との) 情報共有は密にしていきたい。
- ・つくしんぼ文庫も図書館も、子どもと本を繋ぐことを目指している。情報を共有していくのがよい。
- ・アクションプランに、ボランティアとどう連携してゆくかの記載がなく不安である。  
→ (事務局) この連絡会で情報交換等をしてゆく。
- ・数年前には、文庫連と図書館と一緒に桜の丘学園に読み聞かせに行ったことがある。
- ・(図書館の読み聞かせの内容等が分かれば) プログラムを考える材料になる。
- ・それぞれ単独で行っているのは勿体ない。

(会長)

同じ目標をもって行っているので(この連絡会ではなく)連携が出来ると良い。

- ・1年を通してプログラム内容なども共有し、より良くしていければと思う。

## (2) 主催講座の開催について

(事務局) (資料に基づき説明)

(委員からの主な意見、質問等)

- ・前回の紙芝居講座に参加したがとても良かった。未受講の方がいらしたら受講をお勧めする。
- ・図書館が行うフォローアップ講座について、絵本の持ち方なども大事だが、「どんな本を選ぶか」という視点が大事である。図書館が作成しているリストも生かせる。  
(子ども達に絵本を読み聞かせるという事について) 図書館の姿勢を伝えて欲しい。
- ・講座後に活動を希望する人をどう受け入れるか、受入団体との連携や情報提供ができるとう良い。
- ・図書館のおはなし会に参加する前に、必ず主催講座を受けて登録するといったシステム化が必要である。  
→ (事務局) 大切な課題であるが、まずは研修を行うというところに力を入れ今年度は中級講座を開催する。

(会長)

志を持って講習に参加した人が良い形で活動できるようにして行きたい。

### 3 協議事項・意見交換

#### (1) 「布の絵本」交流会との共催イベントの開催について

(事務局) (資料に基づき説明)

来年 5/30(土)にベルブホールとギャラリーがとれた。ギャラリーでタペストリーの展示を行う。

(布の絵本サークル ピエロ)

参加団体の数によっては、舞台を出して作品を展示する必要がある。またおはなし会は、布にまつわる話やコラージュなどの絵本で行ってはどうか。

(会長)

おはなし会を行うことには異論はないかと思うが、どこがどう協力してゆくか。

→(委員) 市民ボランティア連絡会の参加団体に協力願いたい。

(委員からの主な意見、質問等)

- ・布の絵本のイベントに興味があり、皆さんが参加されるのであれば参加したい。
- ・時間と場所にもよるが、会場がざわつくのではないか。布で遊べるようなスペースも作れると良い。
- ・ただ見るだけでなく、触れて体験するのも大事である。  
→(委員) 去年は、遊べるスペースがあった。また展示作品には触ることができる。
- ・おはなし会は、参加する人にも展示を見る人にとっても別会場が良い。講座室や視聴覚室などで出来ないかもう一度検討を。また本館などで、布や織物が出てくる絵本の展示など、連携してもらえると良い。

(会長)

市民ボランティア連絡会として協力してゆく、ということで良いか。

→了承された。

(事務局) 会場の分散については、会場や人員確保の問題もあり、慎重に検討していきたい。

- ・おはなし会はホール出入口外のスペースが使用出来れば、ホール内よりいいのではないか。

(事務局) 公用申請の期間は終了している。今回はホール内とギャラリーで実施できる内容ですすめたい。

(会長)

この連絡会の会議内で話し合っって進めていくことは難しい。

- ・会場がざわざわすると思うので、おはなし会の時間を前もってお知らせし、その時間帯はおはなし会中心であるとPRしてはどうか。

- ・前回の交流会では、4団体が会場内でおはなし会を行ったが、計画的なものではなかった。

(会長)

次回会議にアイデアを持ち寄る。

(布の絵本サークル ピエロ)

4月のチラシ発送までには詳細を決定したい。

(2) 子ども読書まつりのあり方について（中・長期的な課題についての意見交換）

(事務局) (資料に基づき経緯等説明)

今後、読書まつりをどのようにしてゆくのか、目的や開催形態、主催などを考え直す時期に来ている。皆さんのご意見を伺い参考とさせていただきたいと考えている。

(委員からの主な意見、質問等)

- ・この会議で検討した意見が、今後どう扱われるのか。

→(事務局) 庁内連絡会と小・中学校連絡会を合わせた3つの会の意見を、推進連絡会に報告・提案し決定してゆく。

(会長)

元々は、図書館は事務局として動いており、市民連絡会で具体的な事を決めて引っ張ってきた。

- ・主催団体も変わってきている。図書館主催から（連絡会に）戻ることはあるのか。

→(事務局) 主催を連絡会にするなら、実行委員会形式にして、準備等を担ってもらう必要がある。

- ・この連絡会への参加団体が少ないが、もともと色々な団体が活動の内容などを共有し、一般の図書館利用者へも紹介する目的があり、子ども読書まつりの内容も日常の活動を知ってもらうように変わってきた。

講演会についてはこの連絡会に希望を聞かれることもなく図書館が決定しており、この会は何なのかと思う。

- ・この連絡会での質問や意見がどう扱われ、どう討議されるかが見えないので不安である。推進連絡会での検討内容や結果が報告されないと困る。

- ・図書館が主催なのは、この2年間の暫定的なことだと思っている。

(会長)

推進連絡会には、図書館として確実に伝えてフィードバックをしてほしい。これからの開催に向け、良い形にしていきたい。日頃の活動が特別なイベントよりも重要であると伝わってゆく「子ども読書まつり」であってほしいと考えている。

(事務局) 開催の形態を「お祭り」として行うのか、あるいは講演会や展示、特別おはなし会を時期を分散させるなどしてやっていくのか、また開催期間についてご意

見をいただきたい。

(会長)

おはなし会を月1回行っている事が多いので、期間が1か月であった。

- ・内容は、普段の活動で、そこに来てもらうためのお祭りである。
  - ・講演会や展示は1週間にしても良いが、日常活動を見てもらうには1か月必要。
- (事務局) 日常活動のPRが目的の一つ(であるということで良いか)。
- ・打ち上げ花火的なものではなく、日常的な活動をという所が変わってきた。
  - ・日常活動の紹介が定着していないならこの時期にイベントとして講演会をしようという考えもあったと思う。
  - ・期間中の1か月で日常活動が紹介できたのか、という思いはある。1か月やらなくても紹介する方法があれば、変更しても良い。また名前に囚われるのであればそれも変えても良いし、イベントで引き付けた参加者を日常の活動に繋げられる方法があれば時期は短くても良い。
  - ・「ほんともフェスタ」という名前からイメージする賑やかさと日常の活動には相反する部分がある。お祭りの的なもので注目してくれた子ども達の目を日常の活動に向け、おはなし会に参加してもらえれば良いと思うが、(各文庫の紹介)ボードの展示だけでは物足りないと思うので検討すべき。
  - ・+αを取り入れながら日常を紹介するべきが、段々普段の活動と変わらなくなった。日常の紹介で良いのかというところも検討したい。「ほんともフェスタ」では、中高生への呼びかけなど、普段の個々の活動では取り組めない事に、皆で取り組むということにも意義があり、また取り組むチャンスである。1~2日でも、集中して行い普段の活動も紹介することもできるのではないか。工夫して行うことをしていないし、その力が衰えてきたのではと思う。
  - ・このまつりが普段と違う特別なもののなのか、延長線上のものなのか。
  - ・普段やれない事という所が抜け落ちてしまった感じがある。
- (事務局) 大切な事項である。次回、「ネーミング」「期間」「内容」「主催」にポイントを絞って意見を伺い、まとまれば他の会議にはかりたい。
- ・順序としては「内容」「期間」「ネーミング」である。
- (事務局) 「内容」について、第三次計画の取り組みに「子どもの読書活動の重要性をより効果的にPRしていくために、イベントのあり方を総合的に再検討する」と規定している。イベントを総合的に見直し考えていただきたい。またフェスタが無くなっても、グリナード永山での展示は続けていく。
- (会長)
- この件については次回も継続する。

(3) 第三次計画の平成30年度の進捗状況について

(事務局) (参考資料に基づき説明、資料はまだ確定したものではないので会議後に回収)

この資料のように図書館、関係課、学校で振り返りをしている。この資料は図書館と関係課のものである。

(会長)

この件について何かあるか。→意見等なし。

(会長)

今回は時間がないので先に進める。

#### 4 情報交換及び次回日程について

次回日程

令和元年11月28日(木) 午後1:30～16:00

情報交換

- ・中央図書館をつくる会 11/2 と 12/1 に市民企画講座を開催する。→チラシ配布
- ・文庫連絡協議会 文庫連だよりの7月号、9月号を配布
- ・多摩おはなしの会 11/6(水) 10時から関戸図書館活動室でおさらい会開催
- ・もりの文庫 愛宕児童館から話があり、愛和小学校内の学童、愛宕南学童でおはなし会を開催する(単発)。アクションプランの関係で、児童館が学童と連携するにあたり、協力を求められた形である。
- ・永山公民館で月曜日の午前中におはなし会を行っているが、永山図書館が和室で行っている赤ちゃんおはなし会と重なってしまっている。連携し、調整していただけると良い。

(0時20分終了)